◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇日本学術会議ニュース・メール◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
No.985　｜　2026年10月16日

■■　トップニュース　□□

１.【開催案内】公開シンポジウム「歴史教育シンポジウム
－高校歴史教育改革を大学教養教育にどうつなげるか－」
２.【開催案内】公開シンポジウム「文化財の未来をつくるのは誰か
～SDGs、地域、防災、キャリア～」
３.【開催案内】公開シンポジウム「今に活きる・活かす古典を考える
―倫理・道徳教育における古典活用の可能性」

■----------

１.【開催案内】公開シンポジウム「歴史教育シンポジウム
－高校歴史教育改革を大学教養教育にどうつなげるか－」

----------■

【主催】日本学術会議史学委員会
【共催】日本歴史学協会
【後援】高大連携歴史教育研究会
【日時】令和８(2026)年10月24日（土）13:00 ～ 17:00
【場所】一橋大学国立キャンパス(東京都国立市中2-1東キャンパス)(ハイブリッド開催)
【参加費】無料
【定員】特に設けないが、会場は200人収容、オンライン参加は500人まで可能
【事前申込み】要
以下のリンク先申込フォームより、お申し込みください。(申込締切　2026年10月21日（水))
https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/M_ipmB9eQ_yBEZoSXzguJw

【開催趣旨】
　新課程による大学入学試験も２回目を終え、大学生のほぼ半分が新課程の歴史教育の履修者となった今、高校の歴史教育改革を大学の教養課程でどのように活かしていくかが問われている。今回は、高校と大学の対話を通じて、歴史教育の高大連携の可能性と課題について検討することにした。

【プログラム】https://www.scj.go.jp/ja/event/2026/2026/405-s-1024.html
【問い合わせ先】鈴木茂（日本歴史学協会歴史教育特別委員長）
メールアドレス： shigerus(a)nufs.ac.jp ※(a)を@にしてお送りください。

■----------

２.【開催案内】公開シンポジウム「文化財の未来をつくるのは誰か
～SDGs、地域、防災、キャリア～」

----------■

【主催】日本学術会議 史学委員会「文化財の保存と活用に関する分科会」
【共催】奈良女子大学、岡山大学文明動態学研究所
【後援】奈良県、近畿地区考古学大学連絡協議会、奈良県教育委員会
【日時】令和８(2026)年 10 月 25 日（日）13：30～17：00
【場所】奈良女子大学ダイダンホール （奈良県奈良市北魚屋東町総合研究棟文学系 S 棟 2 階）
（ハイブリッド開催）
【参加費】無料
【定員】会場 200 人、オンライン 1000 人
【事前申込み】要
以下のリンク先申込フォームより、お申し込みください。
https://x.gd/lCDOD

【開催趣旨】
日本各地には、遺跡や建造物、歴史資料など、地域の歴史や文化を物語る数多くの文化財が受け継がれている。文化財は過去を知るための学術的資料であるだけでなく、人々のアイデンティティや地域社会の記憶を支える重要な社会資源でもある。しかし現在、人口減少や少子高齢化、自然災害の激甚化、地域社会の担い手不足などを背景として、文化財の保存・活用は大きな転換点を迎えている。また、文化財をめぐっては、観光や地域振興、SDGs、防災・減災など、多様な社会課題との関わりもますます重要になっている。
こうした状況の中で、文化財の未来を支えていくためには、研究者や行政担当者だけでなく、市民、とりわけ次世代を担う若い世代が文化財の価値と課題を自ら考え、社会全体でその保存と活用のあり方を議論していくことが不可欠である。文化財は「守るもの」であると同時に、「未来へ引き継ぐもの」であり、そのあり方を決めるのは私たち一人ひとりである。
本シンポジウムでは、都市の歴史を読み解く学術研究の意義、文化財保護と防災、人口減少や災害が文化財に及ぼす影響、SDGs との関係、パブリックアーケオロジー、文化財に関わる多様なキャリアなどをテーマとして、第一線の研究者・実務者が最新の知見を紹介する。さらに、高校生・大学生を交えた全体討論を通して、「文化財の未来をつくるのは誰か」という問いを参加者全員で考え、これからの文化財保存と活用の新たな方向性を展望したい。

【プログラム】https://www.scj.go.jp/ja/event/2026/405-s-1025-2.html
【問い合わせ先】岡山大学文明動態学研究所
メールアドレス： ridc(a)okayama-u.ac.jp ※(a)を@にしてお送りください。

■----------

３．【開催案内】公開シンポジウム「今に活きる・活かす古典を考える
―倫理・道徳教育における古典活用の可能性」

----------■

【主催】日本学術会議哲学委員会、心理学・教育学委員会、哲学委員会・心理学・教育学委員会合同今に活きる・活かす古典を考える分科会
【共催】日本哲学系諸学会連合、日本宗教研究諸学会連合、特定非営利活動法人世界哲学会議推進会
【日時】令和８(2026)年 10 月 25 日（日）13:00～17:00
【場所】東京大学本郷キャンパス 法文 2 号館 第 1 番教室（ハイブリッド開催）
※第 2 部のワークショップは対面のみ
【参加費】無料（どなたでも参加いただけます（小中高校生歓迎））
【定員】第 1 部 対面 150 人・オンライン 150 人／第 2 部 対面 50 人
【事前申込み】要
以下のリンク先申込フォームより、お申し込みください。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd6Gga5S-y2-CzGnuJRrmjjQn4VcwVkQxaP-u55ZcvAPLMV_A/viewform

【開催趣旨】
本シンポジウムは、日本学術会議哲学委員会・心理学・教育学委員会合同「今に活きる・活かす古典を考える」分科会が取りまとめた見解「今に活きる・活かす古典―倫理・道徳教育における古典活用の可能性」の公表を受けて開催するものである。第 1 部では、見解の内容を紹介したうえで、高等学校教育現場からのコメント、ならびに諸外国における哲学・古典教育の事例を踏まえ、倫理・道徳教育における古典活用の意義と課題を検討する。第 2 部では、古典を素材とした哲学対話のワークショップを行い、参加者とともに、古典が現代の思考・対話・学びにどのように活かされうるかを考える機会とする。

【プログラム】https://www.scj.go.jp/ja/event/2026/405-s-1025-1.html

****
日本学術会議公式Ｘ
https://x.com/scj_info
日本学術会議 YouTube チャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw
****
==========

日本学術会議ニュース・メールは、日本学術会議会員、日本学術会議協力学術研究団体へ配信しております。転載自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。
過去のニュース・メールは、日本学術会議ウェブサイトに掲載しております。

https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html

【本メールに関する問い合わせ】
　本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。
　本メールに関する問い合わせは、日本学術会議ウェブサイトにお問い合わせフォームがありますので、そちらからお願いいたします。
==========
　発行：日本学術会議事務局　https://www.scj.go.jp/
　　〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34